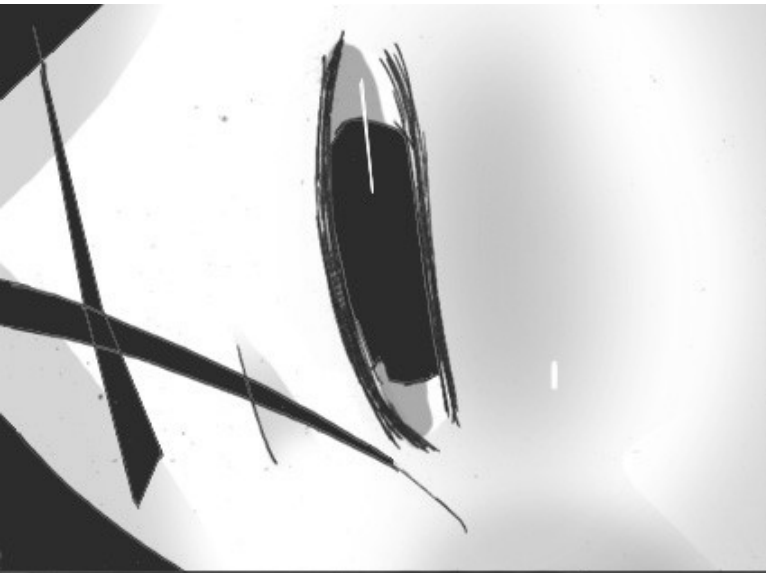


# 妖園の乳奴

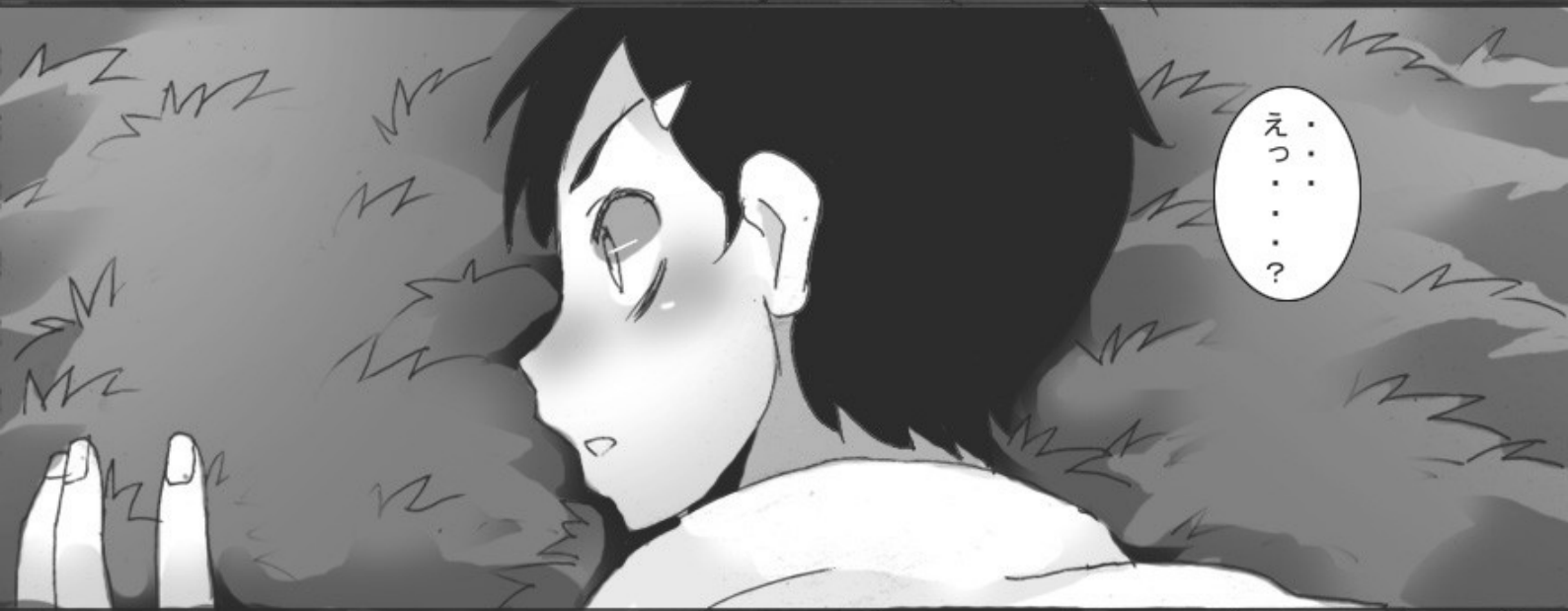








んっ・・・!!



えっ・・・？



な・・・に  
こ・・・？



ザッ

え・・・あれ？  
私なんて  
こんな場所で  
倒れて・・・？

修学旅行で自由行動中  
皆と探索してて・・・

そう・・・  
トイレに行きたくなって  
近くにあった公衆トイレに  
入った後・・・



私その後・・・  
どうしたんだっけ・・・？

それから・・・  
あれ・・・？



駄目・・・  
思い出せない・・・  
なんで・・・？





おお？  
人間じゃねえか  
これえ！



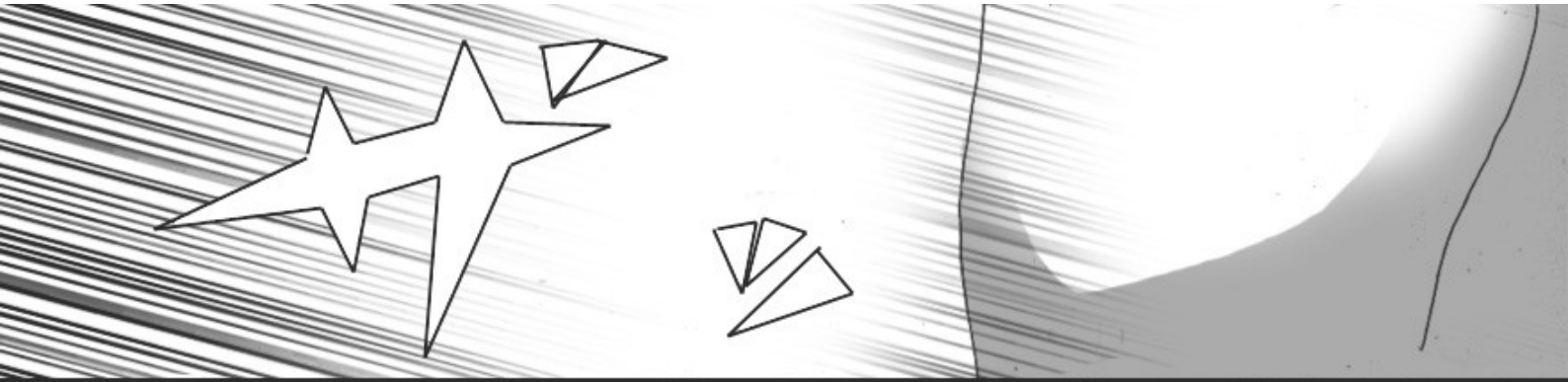
流石ナツメ様だあ  
こんな弱っちい気配を  
感じ取るなんてなあ！

えあ……？



人間なんてご馳走  
オラ食ったこと無いから  
食ってみてえけど……

ナツメ様に渡したほうが  
いいよなあ



な、なんだあ!  
オメエ!



ああっ!  
!?



逃げる!



走れっ!



ここはナツメっていう  
妖魔の縄張りだ!  
早くっ!

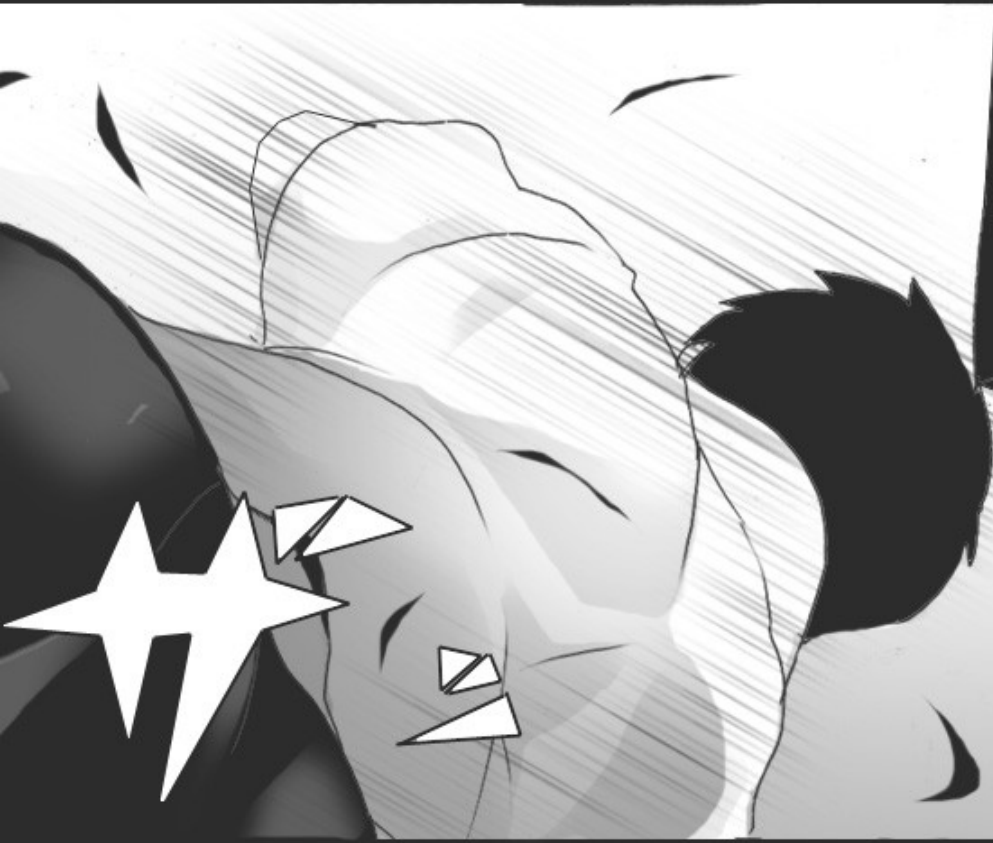
それにあの子供も・・・  
解らない・・・  
頭の中がぐちゃぐちゃで  
何も考えられない！

な、何なのあれは！  
か、怪物！？

とにかく  
ここから離れなくちゃ！  
ここから・・・

あっ！







ほう・・・  
微弱だが妙な気配がすると思ったら  
人間が迷い込んで来ていたのか



それも若い女・・・



くくく・・・  
ほうほう・・・



ギョ

あ  
・  
・  
・



「穴」から「こちら」側に  
迷い込んできた人間は  
何人か捕獲したが  
若い娘はどれくらいぶりか？

うっ



この人間を屋敷に運べ  
いいか・・？  
勝手に食ったりするなよ？



はっ

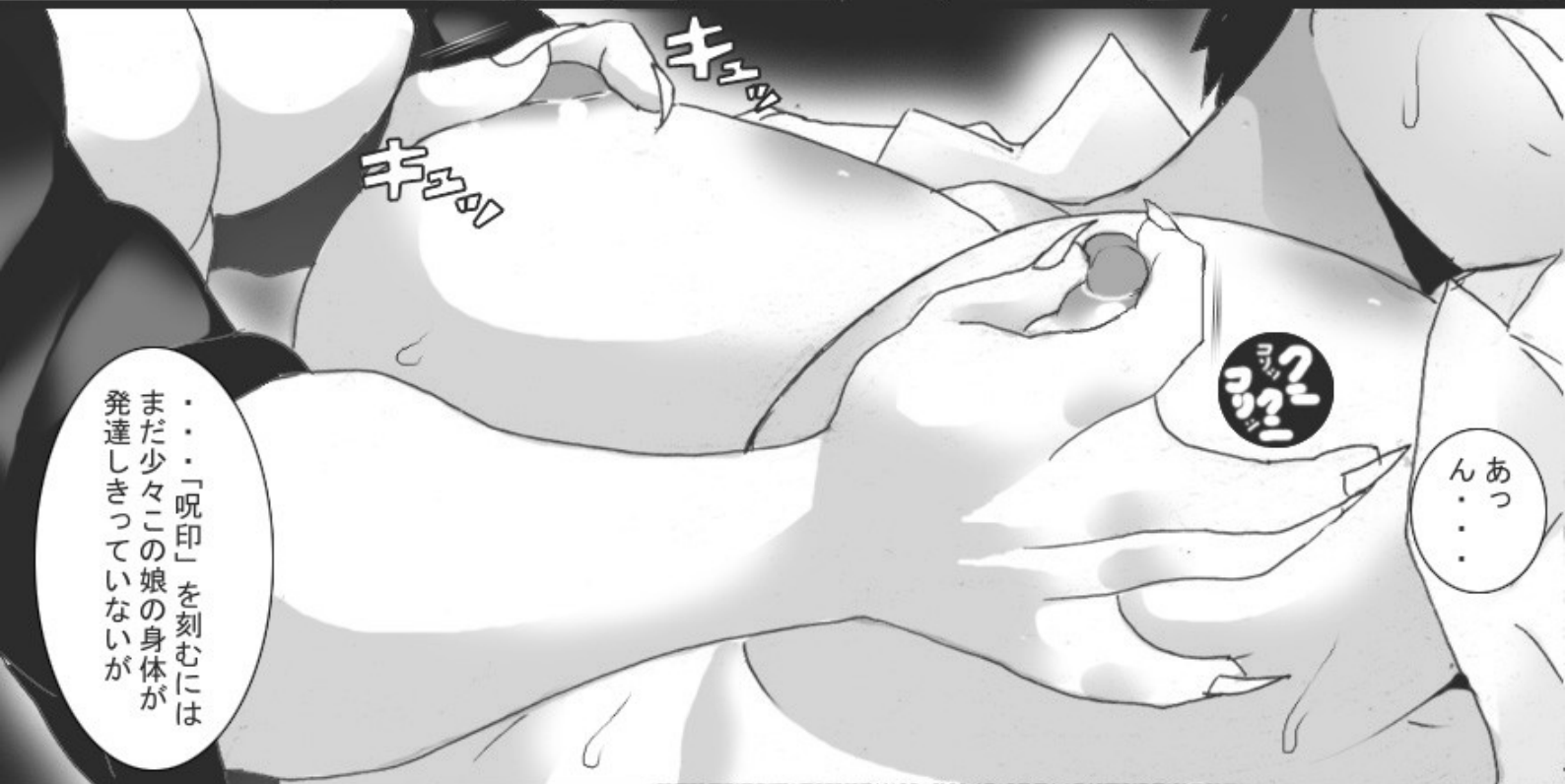
あっ



んあ  
んっ  
っ!

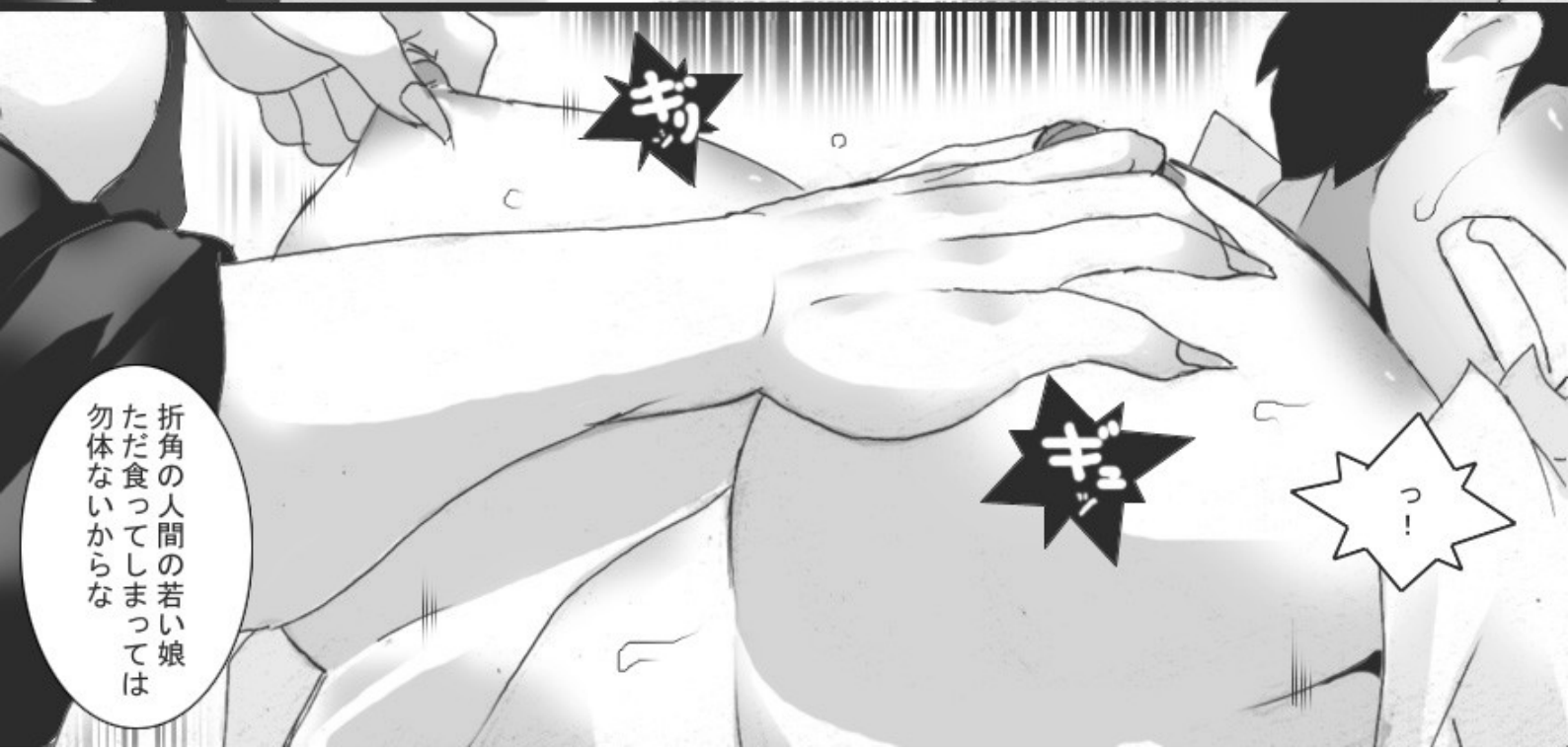


感じるか？  
人間の娘よ……



んあっ  
……

……「呪印」を刻むには  
まだ少々この娘の身体が  
発達しきっていないが



？

折角の人間の若い娘  
ただ食ってしまっは  
勿体ないからな



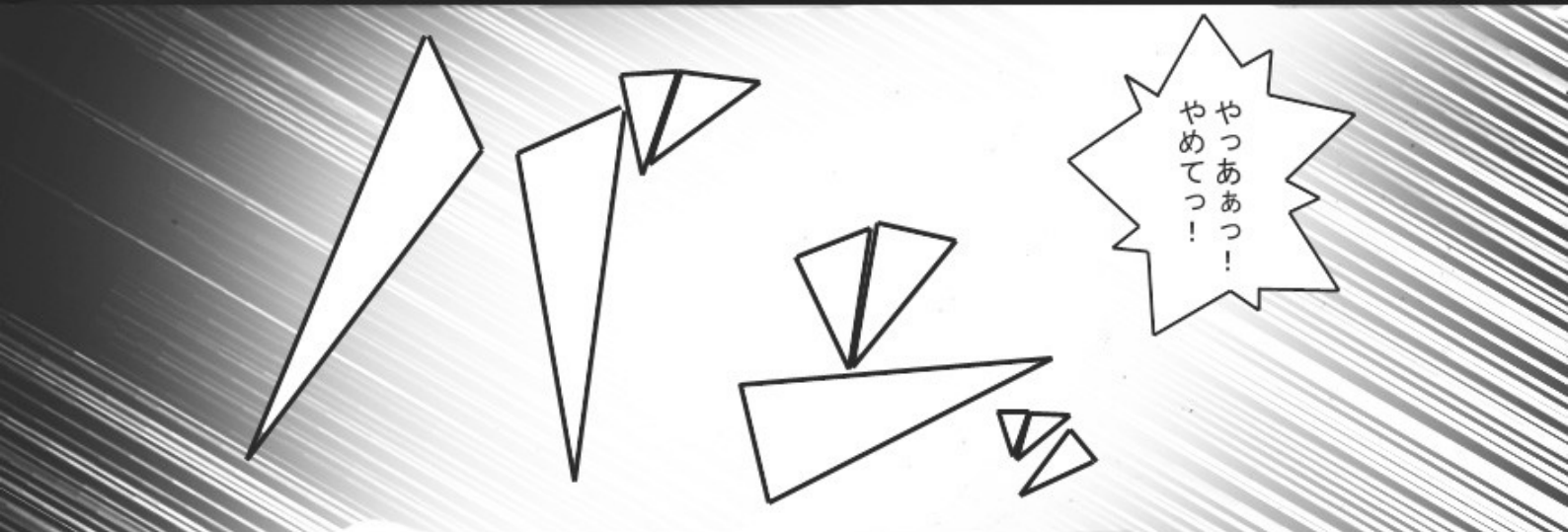


目が覚めたか？  
人間の娘

弱

びん

びん



やっああっ！  
やめてっ！



キッ

あなたは！？

な、なに？  
私に何をしてっ！？



なっ!

やれやれ・・・  
目の前で倒れこんだお前を  
我が屋敷で介抱してやったのに  
随分な態度だな人間



か、介抱!?  
私に・・・変な事  
していたじゃないですか!

妖魔 ナツメ



ふ、ふざけないで  
下さい!

ようま・・・!?

ふざけてなどいない  
・・・まあ無理もないか



まあ良い  
私は「ナツメ」  
この辺りを治めている  
「妖魔」だ

っ!?  
この人見た目は  
私と変わらないのに

どういう事が  
教えてやってもいいが  
その前に……

さっき見た  
一つ目の化け物より  
なんていうか……  
危険な感じがする

ガッ  
ガラ

ここから  
逃げなきゃ……!

えっ!?

ナツメ様あ  
この人間は食っちゃ  
いけないんですかい〜?

人間の若い娘……  
旨そうだなあ?



おお！  
捕まえてたんだな  
よかったなあ！



人間の・・・若い雌  
旨そう・・・



流石ナツメ様だあ！

あの時は  
妙なガキに邪魔されて  
この人間にもガキにも  
逃げられて焦ったけど



いや  
この娘は屋敷で「飼う」



ナツメ様  
この人間の雌は  
どうするんで？

前に食った人間みたいに  
調理しますか？

「人間界」を  
自由に行き来出来なくなって数百年  
人間の若い娘を生きたまま  
捕えられる機会など滅多に無いからな

ガッ

ふん

あッ

この娘の乳房に  
私の「呪印」を植え付け  
「乳女」としてこの屋敷で  
飼い馴らすことにした

ふん



娘  
お前がこの「妖魔界」に  
迷い込んだ理由は  
後でゆっくり教えてやろう

あうっ

だがその前にお前の身体に  
私の「所有物」である呪印を  
埋め込ませてもらうぞ



んむっ!?

他の連中が勝手に  
お前を食ったり  
しないようになあ



ズ

んんっ!

ズ  
ッ

?!?

ふう・・・ふふ  
コレを出すのは久しぶりだからか  
少し敏感になっているなあ・・・



さあ「入れる」ぞ

ぐ



えっ・・・あ？  
い、入れるって・・・!?



最初は痛むかもしれないが直ぐにその痛みは消え快感へと変わる

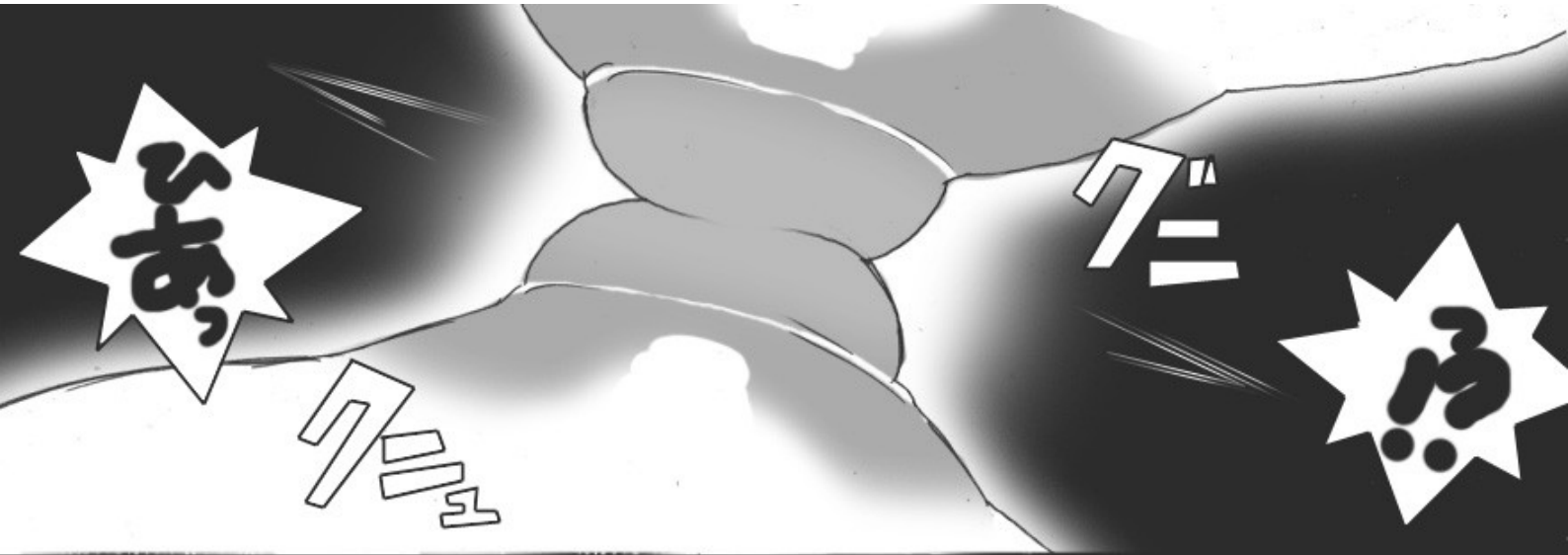
ぐぐぐ

ぐぐ

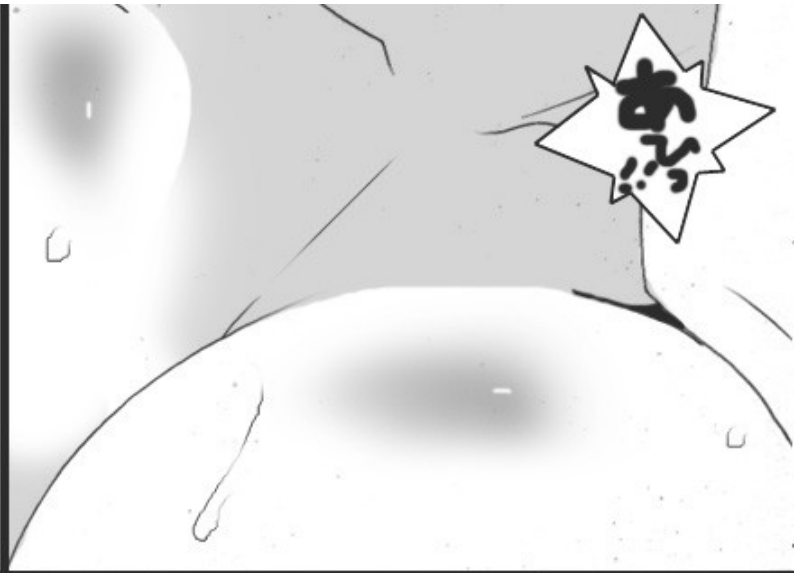
ひっ！  
いやあ！











・ ・ ・ ふむ  
まだ完全に終えてないのに  
お前の身体に呪印が刻まれたか



この呪印は私の物である証



やはりまだ  
お前の身体が若すぎたか  
・ ・ ・ まあいい



この呪印があるかぎり  
お前がどこにいようと  
私からは逃れられない

これでお前は  
私のシマで勝手に食われたり  
殺される事はない、が

お前の双乳を  
何故造り替えたのか

ククク・・・  
お前のその身体でこれから  
じっくり教えてやろう



つづく















